

スペースジャパンレビュー編集委員巻頭言

明けましておめでとうございます。本 AIAA-JFSC が発足して以来今年は 9 年目を迎えようとしております。お陰様で、昨年初めには第 50 号記念の Space Japan Review を発行することができました。これも皆様のご協力の賜物と感謝致しております。ただその後、編集担当の人事異動などで少し発行が停滞し皆様にご迷惑をお掛け致しましたが、昨年 9 月より正常に復帰し、本年は一掃充実したものにしていきたいと意気込んでおりますので、引き続きご支援をよろしくお願い致します。

編集顧問 飯田尚志



本年もよろしくお願い申し上げます。

先ずは、昨年いろいろの政治的情勢から成立に至らなかった「宇宙基本法」の早期成立を待ちたいと思います。我が国の持つ最新の宇宙技術を、国の安全保障、国民の安全・安心の確保のために役立てられる正常な状態が、一日も早く実現されることを願っております。

打ち上げ計画では、JAXA の超高速インターネット衛星「きずな」と、いわゆる「スーパー 301 体制」以来 18 年ぶりに日本の産業界の手に戻ってきた国産商用通信衛星「スーパーバード 7 号」の成果が大いに期待される場所です。

副編集長 植田剛夫



新年明けましておめでとうございます。日頃 SJR のご愛読ありがとうございます。

昨年は世界的レベルで気象異常を思わせる現象が生じ地球温暖化による環境破壊・災害発生が危惧され、自然環境の監視・悪化の防止の必要性が問われました。一方日本では宇宙基本法の国会での審議が行われ宇宙政策の転換に期待が寄せられました。

宇宙観測の分野でも“かぐや”が月のハイビジョン映像を地球へ送ってきてその素晴らしい映像に国民の宇宙への関心を沸き立たせました。ALOS よりの観測情報の地球への送信も継続されており災害監視などの必要性と合わせ観測衛星の活躍が期待されます、観測衛星の活躍により当然ながらその取得データの地上への伝送需要の増大から、DRTS を含めた衛星通信技術の貢献が多いに期待されることは言を待ちません、今年は 2 月に WINDS の打ち上げが予定され、新たな高度衛星通信技術の開発の動きに期待したいと思います。今年も SJR をご愛顧頂きますようお願い致します。

SJR 編集特別顧問: 北爪 進



新年明けましておめでとうございます。今年は、いよいよ Ka バンドを利用した高速インターネット衛星の WINDS が打ち上げられる予定です。欧米でも次々と Ka バンド帯のインターネット衛星が打ち上げられてきていますが、アジア太平洋地域におけるデジタルデバイド、防災・災害時対策等に対する WINDS そしてすでに打ちあがっている ETS-VIII による実験成果に対する期待も高まっています。今年も日本そして世界の動向を幅広くお伝えしたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

編集顧問 鈴木良昭



あけましておめでとうございます。

ご購入ありがとうございます。Space Japan Review 誌編集委員長の若菜弘充です。2001年4月/5月号から印刷誌からウェブ版発行に切り替えて、何とか50号の発行までこぎつけました。わが国も今年には ETS-VIII と WINDS と実験用通信衛星もそろい様々な実験の様態など本誌独自の記事を掲載できるものと、大変期待しております。今後ともご購入よろしくお願いたします。

編集長 若菜弘充

本年もよろしくお願い申し上げます。

今年は「スペース・ジャパン・レビュー」誌の記事を充実したものにしていきたいと思ひます。本業界の動きなどが分かりやすい形で記事にできればと思ひます。読者諸氏のご協力をお願いいたします。

本年も皆様にとりよい年でありますように祈っております。

編集委員 志垣雅文

